

業界を挙げて取り組む！技術の継承

千葉県知事認定職業訓練施設

# 千葉県建築設備高等技術専門校

## 平成28年度 第31期生募集中

管工事業界の技術者育成を目指す！！  
管工事業界の「技術保有集団」としての礎を築く

専門校へ訓練生を  
派遣

資格の取得  
技術の習得

組合員企業の  
レベルアップ・  
業務拡大

- \* 技術の証に資格取得は重要！
- \* 資格取得に向け、徹底したカリキュラム
- \* 在学中に多くの資格取得を目指せる環境
- \* 専門分野からの派遣による講師陣

- \* 後継者並びに従業員の技能の向上・能力開発
- \* 修了生の特典として、訓練修了後に資格が一部免除にて受験可能

### 訓練内容と対応資格

基礎技術編	■ 配管技能士（技能検定）
管工事編	□ 管工事施工管理技士
給水装置工事主任技術者編	□ 給水装置工事主任技術者
土木編	□ 土木施工管理技士
排水設備編	□ 下水道排水設備工事責任技術者
配水管工編	☑ JDBA 継手接合研修会 ☑ 千葉県水道局認定 不断水穿孔技能者 ■ 給水装置工事配管技能検定会
安全衛生関係等資格編	☑ 地山の掘削及び土止め支保工作業主任者 ☑ 職長・安全衛生責任者 ☑ 小型車両系建設機械 ☑ アーク溶接

- ☑ カリキュラムに特別授業（受講資格を有する受講者のみ）として、訓練内で資格取得可能
- 受験資格を有する訓練生は、訓練期間中に積極的な受験を推奨
- 修了生の特典として一部試験内容に免除があるため、訓練修了後に受験を推奨

技術者育成のため、当校の積極的な活用を！！

## 即戦力となる

知識・技術・技能の習得を目指す!!

千葉県建築設備高等技術専門校

校長 白倉 進



本校は昭和 60 年に職業能力開発促進法第 24 条に基づく千葉県知事認定の県内唯一の「指定給水装置工事事業者」技術者育成機関として開校し、これまで 30 年間の訓練を通して 882 名の修了生を輩出しております。

また、管工事業界の「技術保有集団」として、即戦力となる知識・技術・技能の習得を目指しており、技術の証である資格取得は重要な課題であることから、在学中に多くの取得を目指せる環境づくりを行っております。

特に「給水装置工事主任技術者」、「管工事施工管理技術者」の国家資格については、試験日に照準を合わせたカリキュラム編成で実施するとともに各専門分野から講師を委嘱し、効率的な履修体系のもと訓練を実施しております。

この他にも、技術の研鑽を目的に開設した千葉県水道技術研修センターでは、「千葉県水道局不断水穿孔技能者講習」並びに日本ダクトイル鉄管協会協力のもと、「JDPA 継手接合技術現地団体研修会」を当校独自に開催するなど、業界を挙げて技術の継承にも取り組んでおります。

更には、「地山の掘削及び土止め支保工作業主任者」「職長・安全衛生責任者講習」「アーク溶接」「小型車両建設機械」などの現場の安全管理に即応する安全衛生関係資格も積極的に取り入れ、在学中に取得が可能となっております。

そして、修了後には「技能検定 2 級建築配管」では、学科が免除され、また「給水装置工事配管技能検定会」では、実技の一部が免除され、分岐穿孔のみの検定課程により受検できる特典が与えられます。

つきましては、1 年間で約 80 日の訓練は、所属会社における本来の仕事との両立となり、様々な制約の中で大変厳しいものではありますが、業界を挙げて取り組む本校の運営にご理解を頂き、後継者並びに従業員の技能の向上・能力開発延いては所属事業所の業務拡大のために本校を積極的にご活用頂きますようお願い申し上げます。

## 技術の継承と

優秀な人材の育成

千葉県商工労働部長

麻生 恵



我が国の安全・安心で快適な生活及び産業の発展は、管工事等を含む生活基盤・産業基盤等の社会資本整備により実現してきました。そして、それを支えてきたのは、多くの優秀な技術者の方々です。

水道施設は、県民の日々の生活や経済活動に欠かせない重要なライフラインの一つであり、いつでも快適かつ確実に利用できることが求められています。

そして、こうしたライフラインを支えるのは、ここで働く方々の持つ高度な技術と確かな技能にほかなりません。

グローバル化や技術の進展・高度化に伴い、技術者に求められる資質も一層高いものとなっております。そのため、技術者には絶えず新しい知識を習得していく姿勢が求められておりますが、新しい技術を身につけるためにも、技術を基礎から体系的に習得することが必要です。

千葉県建築設備高等技術専門校は、昭和 60 年の発足以来、数多の優秀な技術者を輩出してきた輝かしい実績を有しており、平成 2 年には優れた認定職業訓練施設として労働大臣表彰を受賞するなど、職業能力の開発、向上や若手技術者の育成に積極的に取り組まれております。

本専門校は、歴代の校長先生をはじめ豊富な知識と経験を有する講師陣の指導の下、基礎的な訓練はもとより、各種資格の取得に力を入れる等、実践的な訓練を行い、本県産業を支える前途有為な人材の育成校として尽力されており、県といたしましても大いに期待しております。

入校を志す皆様には、本専門校で職業人として必要な知識と技術を十分身に付け、仕事を通じ企業や産業の発展に貢献されますよう、心から御活躍を祈念いたしております。

## 開校の目的

職業能力開発促進法 第 24 条の規定に基づき設立された、千葉県知事認定の管工事関係団体の職業訓練施設で、国家試験「給水装置工事主任技術者」並びに「管工事・土木施工管理技士」及びその他必要と認める管工事技術関係資格の取得を目的として、本校協賛団体の構成事業所の後継者並びに従業員を対象とした総合技術者養成施設を開校。

## 訓練の概要

訓練科名	設備施工系 配管科
訓練期間	1 年間 H28. 4 月～H29. 3 月
訓練日	火(毎週)・土(第 1・3 週)
訓練時間	午前 8 時 50 分～午後 5 時
定員	40 名
入校資格	<ul style="list-style-type: none"><li>・本校協賛団体構成事業所及び構成事業所の推薦する事業所の後継者・従業員で実務経験 2 年以上（平成 28 年 4 月 1 日現在）を有する者</li><li>・高等学校卒業者、または同等以上の学力を有する者</li><li>・平成 28 年度以降に管工事・土木施工管理技術検定を受験する者</li><li>・雇用保険の被保険者であること</li></ul>

## 本校修了生の特典

1. 国家資格『**技能検定建築配管技能士**』の二級技能検定の学科試験並びに実務経験が免除。
2. 千葉県水道局の配水管工事施工の際に必要な『**不断水穿孔技能者**』として認められる。
3. 『**給水装置工事配管技能検定会（分岐穿孔のみ）**』の受検資格が得られ、実技検定の一部内容が免除。
4. 成績優秀者には、千葉県知事賞・千葉県水道局長賞・千葉県職業能力開発協会長賞等が授与されます。

## カリキュラム

当校では、国家資格等の資格取得を第一の目的として、国家試験受験日に照準を合わせたカリキュラム編成（土木編を除く）により訓練を実施しております。

また各編終了時には、当校独自の修了試験を実施しており、国家試験前の予備試験として好評を得ております。

【編名】 総訓練時間(時限)	科目(訓練時間)	講師所属
【基礎技術編】 36 時限	学力考査 (4)	専門校
	上水道概論 (4)	千葉県水道管工事協同組合
	配管施工法 1 (12)	
	配管施工法 2 (4)	塩化ビニル管・継手協会
	配管実技 (8)	光陽サービス(株)
	基礎概論 (4)	教務主任
【管工事編】 184 時限 ～H27 年度日程～ 授業実施期間 5/19～9/1・11/10 (24 日間) 国家試験日 1 級学科：9/6、実地：12/6 2 級学科・実地：11/15	設備原論 (32)	元雇用・能力開発機構
	空気調和・換気 (24)	
	浄化槽 (4)	前澤化成工業(株)
	設備に関する知識 (16)	元雇用・能力開発機構
	施工管理 (24)	
	その他の法令 (4)	
	2 級実地 (4)	
	総集仕上げ (12)	
	上水道、給水・給湯 (8)	
	水道法 (4)	
	下水道排水設備、通気 (8)	前澤化成工業(株)、TOTO(株)
	消火設備 (4)	(株)荏原製作所
	ガス設備 (4)	房総ガス協議会
	電気工学 (8)	東京電力(株)
	建築学 (8)	(株)エコ・サポート
	建築基準法 (4)	千葉市役所職員
	下水道法 (4)	千葉県県土整備部下水道課
	消防法 (4)	元千葉市消防局
労働安全衛生法 (4)	荒木労働安全コンサルタント事務所	
労働基準法 (4)		
【給水装置工事】 主任技術者編 48 時限 ～H27 年度日程～ 授業実施期間 9/8～10/9 (7 日間) 国家試験日 10/25	公衆衛生概論	千葉県水道管工事協同組合
	給水装置工事事務論 (8)	
	水道行政	
	給水装置施行管理法	
	給水装置の構造及び性能 (16)	
	給水装置の概要	
	給水装置工事法 (8)	千葉県水道局
給水装置計画論 (16)	(株)環境技研コンサルタント	
【土木編】 56 時限	土木一般 (16)	(公財)千葉県建設技術センター
	専門土木 (8)	
	法規 (8)	
	共通工学 (8)	
	施工管理 (16)	
【製図技術編】 88 時限	積算 (16)	(株)環境技研コンサルタント
	申請図・施工図 (48)	千葉県水道局、 千葉県水道管工事協同組合
	CAD (24)	オフィスビーぷる
【配水管工編】 24 時限	穿孔実技 (16)	コスモ工機(株)
	JDPA 継手接合研修会 (8)	日本ダクタイル鉄管協会
【排水設備編】 8 時限	排水設備責任技術者 (8)	前澤化成工業(株)
【安全衛生関係等資格編】 80 時限	地山の掘削及び土止め支保工 (24)	県管連講習
	アーク溶接 (24)	コベルコ建機
	車両系建機 (16)	コベルコ建機
	職長・安全衛生責任者 (16)	県管連講習

# 修了生からのメッセージ

第27期生  
小林大樹さん



第28期生  
高橋純一さん



第29期生  
鈴木正雄さん



管工事業界の技術者として仕事をするには、各分野の様々な知識、技術、資格を必要とします。

この専門校では管工事業に必要な資格の受験対策として、カリキュラムが基礎から配管などの実技講習が組まれています。日常業務、専門校での授業、試験勉強との両立は大変でしたが、講師の方々にはわからない事は親身に教えて下さり、また、一緒に頑張る仲間がいたので、1年間という短い期間で、資格も取得することができました。

また、専門校に入校したことで、同業界の方と出会い、今後も付き合い続ける仲間もできました。

有資格者の需要は高まっています。そんな中でこのような場所は大変貴重な存在です。

ぜひ、専門校で知識を高め、様々な資格を取得し、最前線で活かして下さい。

管工事業は、地域社会における公共性の高いインフラ整備をはじめ、国民の生活に直結するとても大切な仕事であります。

そこで、そのような重要な仕事に携わる私たちには管工事業の専門家になることが求められています。

専門校への入校は、正にその目的を達成することの出来るビックチャンスであります。

一年間専門校のスタッフに支えられ、経験豊富な講師陣に親切丁寧に指導を受け、同期生より励まされ、管工事技能や資格試験などの基礎をみっちり学ぶことが出来ます。そして、技能と知識と人間力（コミュニケーション力）のバランスのとれた能力会得の重要性に気付かれます。

ぜひ皆さんも専門校に入校して、何事にも挑戦する強い意志のもと素晴らしい仲間を得て、人生の礎を築いてください。応援しています。

管工事業は、様々な分野の知識が求められます。

専門校は、管工事、給水装置工事、土木工事等の総合的な技術者の育成を目的としてカリキュラムが組まれております。

豊富な知識と経験のある先生方の指導により、高度な技術力が身に付き、国家資格も取得することができました。

また、同業界の良き仲間に出会えたことは、かけがえない財産です。

専門校に入校するには、事業主の理解が必要です。技術者育成のために理解のある事業主に感謝しております。

専門校修了者には、不断水穿孔技能者の資格が与えられます。また、各試験に応じて、受験資格の取得、学科試験・実務経験の免除等があります。

皆さんもこの専門校に入校して、知識を高め総合的な技術者を目指してください。

授

業

風

景



穿孔実技



JDPA 継手接合  
現地団体研修会



職長・安全衛生責任者講習会

## 【 募 集 要 項 】

①募集人員	定員 40 名 注：30 名に達しない場合は開校しない場合がありますので、予めご了承ください。	⑤入校決定後の入校納付金等	○構成事業所 142,000円
②応募資格	▶本校協賛団体の構成事業所及び構成事業所の推薦する事業所の後継者・従業員で実務経験 2 年以上(平成 28 年 4 月 1 日現在)を有する者。 ▶高等学校卒業者、または同等以上の学力を有する者。 ▶平成 28 年度以降に管工事・土木施工管理技術検定試験を受験する者。 ▶雇用保険の被保険者であること。		○その他の事業所 284,000円 《入校決定者一括前納制》
③申込方法 必要書類	「入校願書」に必要事項を記入、写真 1 枚(よこ 3cm×たて 3.5cm)を添えて本校事務局へ提出ください (郵送可)		(注)雇用保険未加入者については補助金相当額の費用負担をしてもらう事となります。 (注)入校納付金納付後に入校を辞退する場合は入校事務手数料・教材費(発注済の場合)を差し引いた額を返金することとなります。 (注)入校後に要する費用(予定) ○認定職業訓練生災害保険料 6,800円 《希望者のみ》 ○職長・安全衛生責任者 16,000円 ○地山の掘削及び 土止め支保工作業主任者 17,500円 ○アーク溶接 18,600円 ○小型車両系建設機械 15,500円 ○JDPA継手接合技術研修会 26,500円
④申込期限	平成 27 年 12 月 18 日(金)必着 (定員に達しない場合平成 28 年 2 月上旬まで受付)		

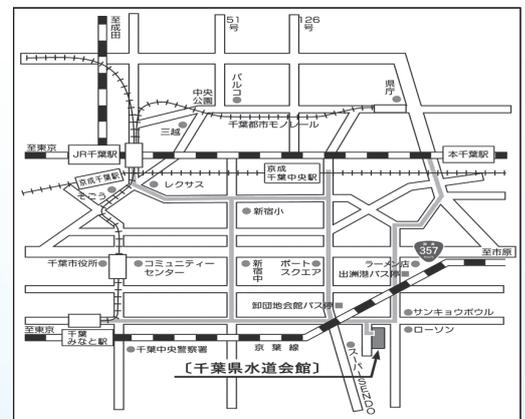
### 訓練生派遣事業主給付金制度

訓練生を派遣する事業主が受給出来る制度です。次の 4 項目を満たしていれば対象となります。

助成額  
約 80 万円

- |   |   |  |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>①訓練生が雇用保険の被保険者</li> <li>②所定労働時間内に授業を受けさせ通常賃金を支払う事</li> <li>③1 年間の訓練を修了する事<br/>(年間出席率 80%以上)</li> <li>④事前に受給認定を受ける</li> </ul> | } | <ul style="list-style-type: none"> <li>●キャリア形成促進助成金制度(千葉労働局)<br/>助成額<br/>800 円×訓練実施時間数</li> <li>●建設労働者確保育成助成金制度(千葉労働局)<br/>助成額<br/>5,000 円×出席日数</li> </ul> |
|---|---|--|

### 案内図



【交通機関】

- ①JR本千葉駅下車 徒歩 16分(約 1.2 km)
- ②京成千葉中央駅下車 徒歩 18分(約 1.5 km)
- ③JR千葉駅(西口)下車 バス乗車 7分+徒歩 5分(約 2.2 km)  
    ※26番線・千葉みなと駅行乗車、出洲港下車
- ④JR京葉線千葉みなと駅下車 徒歩 18分(約 1.3 km)

# 千葉県建築設備高等技術専門校

運営事務局

千葉県水道管工事協同組合  
千葉市中央区中央港 2-5  
TEL 043-247-7373  
FAX 043-248-4484

協賛団体

千葉県管工事業協同組合連合会  
一般社団法人 千葉県浄化槽協会  
一般社団法人 千葉県空調衛生工事業協会

千葉県建築設備高等技術専門校  
平成28年度 入 校 願

平成 年 月 日

千葉県建築設備高等技術専門校  
校 長 様

申込事業所

事業所名

所在地 〒□□□-□□□□

代表者名

電話番号

F A X

㊟

第31期生として貴専門校へ下記の者を入校させたいので、書類を添えて申込みます。

入校希望者氏名	
現 住 所	〒□□□-□□□□

該当する箇所に○印をつけて下さい。

申込事業所との関係（子弟 社員 その他）

所属団体

千葉県水道管工事協同組合

千葉県管工事業協同組合連合会

(一社)千葉県浄化槽協会

(一社)千葉県空調衛生工事業協会

そ の 他

※その他に該当する方は、当校協賛団体（上記4団体）の構成事業所より下記推薦書が必要となります。

推 薦 書

千葉県建築設備高等技術専門校  
校 長 様

上記の申込事業所を推薦しますので、入校資格を与えて下さるようお願い申し上げます。

所属団体（該当する所属団体に○をつけて下さい。）

事業所名

所在地

代表者名

㊟

千葉県水道管工事協同組合

千葉県管工事業協同組合連合会

(一社)千葉県浄化槽協会

(一社)千葉県空調衛生工事業協会

注：裏面の履歴事項を記入して下さい。

注：入校の諾否後、提出書類及び授業料を添えて入校手続きをして下さい。

注：複数の入校希望者の場合は、別途ご連絡下さい。

〔提出書類〕 写真1枚（ポラロイド不可）

# 履 歴 書

よこ 3cm  
たて 3.5cm  
ポラロイド不可

氏名	ふりがな		世帯主名・ 本人との続柄		
	㊟ 性別 男 女 昭和・平成 年 月 日生 (満 才)				
本籍地	ふりがな				
現住所	ふりがな		TEL ( )		
	〒□□□□-□□□□				
最終学歴	学 校 名	学 科 又 は 課 程	所 在 地	卒 業 年 次	卒 業 ・ 卒 業 見 込 等 の 別
				H S 年 月	
職 歴	事 業 所 名	事 業 内 容	所 在 地	在 職 期 間	職 務 内 容
	(現在)		〒□□□□-□□□□  TEL FAX	自  至	
	(過去)			自 至	
	(過去)			自 至	
※ 雇用保険被 保険者番号				※ 雇用保険事 業所番号	
業 界 に 関 する 免 許 資 格	年 月 日	事 項			
備 考					

- (注) この履歴書は万年筆又はボールペン（黒又は青）の楷書体で自筆し、年号は日本歴とする。  
学歴は最終学歴を記入し職歴は新しい順に記入すること。尚、最終学歴が専門校の場合については、その前の学歴を記入して下さい。免許、資格等の記入については当業界に於る免許資格のみとする。
- (注) ※印の雇用保険番号等については、加入していない場合は未加入、労災保険の特別加入者の方につきましては、加入者番号を記入して下さい。